

令和4年度 佐久技術専門校運営協議会 主な意見

項目	学科・訓練科	構成員からの主な意見	校からの回答・校の考え方
評価シートに関する事	機械加工科	<p>機械加工科はせっかく設備がそろっているのだから、金属工作機械の操作はもちろん、CAD/CAMの操作と段取りをしっかり学べるようにしてほしい。そのためには新規高卒者等の入校者を増やして活気ある訓練にしてほしい。それにより就職率なども向上が期待できると考える。</p>	<p>高校新卒での入校者数は、(1)高校生数の減少、(2)専門学校志望者のうち機械加工を学びたい生徒はほぼいないこと、(3)ものづくりを学ぶ進路先として同じ東信地方に工科短大があること、等により減少している。施設内訓練全体について見直しが必要である。</p>
	機械CAD加工コース	<p>機械CAD加工コースはCADに特化しすぎているように思われる。入校希望者の興味は引くであろうが、求人者の求める技術を養成することが望ましいと史料する。</p>	<p>両科ともCAD/CAM、機械加工を訓練に組み込んでいるが、重点はそれぞれ異なる。ニーズを把握しながらカリキュラムを見直していきたい。</p>
学びの場としての校のあり方に関する事		<p>佐久地域、特に地元企業や児童・生徒の保護者の認知度が低いのではないかと。安価に技術を学べることを広くアピールしてほしい。</p> <p>定期的な見学会の開催や、小中高校の児童・生徒の社会見学、職業学習に活用してもらおうことを検討してほしい。</p>	<p>指摘のとおり、地域での認知は低いと感じる。新入社員研修の場として利用するなど認知向上を図りたい。</p> <p>見学会は年3回開催するほか、希望があれば随時受け付けている。より効果的な広報手段を検討する。</p>
		<p>機械加工等の知識・技術を習得した産業人の育成のために、総合技術高校や地域・企業と連携してできることはないか。</p> <p>将来の地域の産業人の育成のために、知恵を出し合う場、率直な意見を交換し合う場が必要だと考える。高校側からもアプローチをしていきたい。</p>	<p>地域、企業との連携について、本校としては、県産業人材育成課、佐久市、産業界(一社 佐久産業支援センター)と技術専門校の今後のあり方について検討を行った経緯がある。</p>